

第5学年 音楽科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学生の音楽5」	(教育芸術社)
副教材		

持ち物		
教科書	ファイル	筆記用具
鍵盤ハーモニカ	リコーダー	タブレット

【学習の約束】

○積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
○楽器を大切に使いましょう。
○よい姿勢で歌いましょう。
○学習の用意をわすれないようにしましょう。
○次の学習の準備をしてから休みましょう。
○チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
○呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
○席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

ぜん き 前 期	こう き 後 期
1. 歌声 ^{うたごえ} をひびかせて心 ^{こころ} をつなげよう 2. 音 ^{おと} の重なり ^{かさ} を感じ取ろう 3. いろいろな音 ^{おん} のひびき ^{あじ} を味わおう 3. 和音 ^{わおん} のひびき ^{うつ} の移り変わり ^か を感じ取ろう	5. 曲想 ^{きょくそう} の変化 ^{へんか} を感じ取ろう 6. 詩 ^し と音楽 ^{おんがく} の関わり ^{かか} を味わおう 7. 日本 ^{にほん} の音楽 ^{おんがく} に親 ^{した} しもう 8. 思い ^{おも} を表現 ^{ひょうげん} に生 ^い かそう ※子どもたちの様子 ^{ようす} や社会情勢 ^{しゃかいじょうせい} 、他の行事 ^た との関係 ^{ぎょうじ} で学習 ^{かんけい} する順序 ^{がくしゅう} を変える場合があります。

【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点			ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
技能 ^{ぎのう} ・知識 ^{ちしき} ・	歌う・演奏 ^{うた えんそう} する	曲想 ^{きょくそう} をとらえて歌 ^{うた} ったり、正しい演奏法 ^{ただ えんそうほう} を身 ^み につけたりする。	授業 ^{じゅぎょう} の様子 ^{ようす} 歌 ^{うた} のテスト ハーモニカテスト リコーダーテスト
思考 ^{しこう} ・表現 ^{ひょうげん} ・判断 ^{はんだん}	工夫 ^{くふう} する ・聴く ^き	ゆたかな発想 ^{はっそう} をし、演奏 ^{えんそう} の仕方 ^{しかた} を工夫 ^{くふう} する。 おんがく ^き 音楽 ^{おんがく} を聴いて、そのよさや美しさ ^{うつくし} さを味わう。	授業 ^{じゅぎょう} の様子 ^{ようす} 発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はつびよう} 鑑賞 ^{かんしょう} 歌 ^{うた} のテスト 鍵盤 ^{けんばん} ハーモニカテスト リコーダーテスト ワークシート
取り組み ^{とりくみ} の態度 ^{たいど}	主体的 ^{しゅたいてき} に学習 ^{がくしゅう} に	主体的に音楽 ^{おんがく} の学習 ^{がくしゅう} にとりくむ。 ・学習 ^{がくしゅう} したことや経験 ^{けいけん} したことを生 ^い かして音楽 ^{おんがく} の学習 ^{がくしゅう} に取り組もう としている。 ・進んで音楽 ^{おんがく} に関わり、協働 ^{きょうどう} して音楽活動 ^{おんがくかつどう} をする楽しさ ^{たのしみ} を味わい ながら、様々な音楽 ^{さまざま おんがく} に親 ^{した} しもうとしている。	授業 ^{じゅぎょう} の様子 ^{ようす} 発言 ^{はつげん} ・発表 ^{はつびよう} ワークシート(ふりかえり)